

## 本時のねらい

・自分自身の側方倒立回転を分析して、技が美しく見えるポイントを探し、技の完成度を上げることができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・様々な角度から側方倒立回転の様子を撮影し、動作を細かく分析する。
- ・グループ交流時、一人ひとりに明確な役割を与えることで、グループ内での自己有用感を高める。
- ・グループ内で動作分析の交流を行うことで、コミュニケーション能力を向上させる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・カメラ機能（動画撮影）
- ・プロジェクター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ストレッチと補強運動を行い、ケガのないように体をほぐす。</li> <li>○健康観察を行った後、本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。</li> <li>○側方倒立回転のイメージをつかむために、柔軟体操や感覚の確認を行う。</li> </ul>	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○側方倒立回転に向けた基本練習を行う。 ・前転、後転、跳び前転、倒立前転</li> <li>○グループで側方倒立回転の練習を行う。グループ内の他の生徒は、側方倒立回転をしている生徒を撮影する担当を決め、様々な角度から動画を撮影する。</li> <li>○教員の見本動画の視聴し、美しく見えるポイントを探したり、自分の試技と比較したりして、相違点をワークシートに記入する。</li> <li>○課題を解決するために必要な練習方法を考え、グループ内で交流する。</li> <li>○協力して練習に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの角度から撮影すると、練習している生徒の課題を見つけやすいかを話し合いながら撮影に臨むよう促す。</li> <li>・自分自身の動画と見本動画を比較しながら、相違点を記入するよう伝える。</li> <li>・グループ内で動作を分析することで、様々な視点から交流を深めるよう促す。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてについて、気づいたことや意識したこと、次時の練習で工夫することなどを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：見本動画を視聴し、技が美しく見えるポイントを確認している場面



写真2：側方倒立回転の様子を様々な角度から撮影している場面



写真3：自分の技の動画をグループ内で分析し、課題を見つけ出している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・タブレット PC を用いて自分の技を客観的に確認することで、多くの生徒が、見本動画との細かな違いまで気づくことができた。
- ・動作分析の時間を長く確保することにより、身体の感覚だけでなく、論理的な理解が一層深まり、その後の練習では出来栄が劇的に向上した。
- ・見本動画をスロー再生しておくことで、生徒はいつでも自分の技と比較しながら練習に取り組むことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

撮影の役割分担を決めておくことで、誰一人として集中を切らさずに、課題解決に取り組むことができた。また、タブレット PC を用いて、グループ内で動作分析を行うことにより、様々な視点から交流することができ、技の向上につながった。